

出張報告書

幹 事 長 印	経 理 責 任 者 印

令和2年8月7日

幹事長

坂上巳生男殿

出張者氏名 坂上巳生男 印

下記のとおり報告します。

1. 出張先 住民が読みたくなる議会広報誌の作り方セミナー
2. 出張日時 令和2年8月4日
3. 出張用務（宿泊を要する場合はその事由）
京都経済センター
4. 旅 費
 - ①参加費 25,000 円
 - ②交通費 特急はるか乗車券 日根野—京都 1,440 円 自由席 990 円
京都市営地下鉄 京都—四条 220 円 片道計 2,650 円
往復合計 5,300 円

5. 報 告

別紙にて報告します。

議会広報セミナー「住民が読みたくなる議会広報紙の作り方」を受講して

2020年8月4日 会場 京都経済センター

講師 吉村 潔 氏

熊取町議会議員 坂上巳生男

吉村氏のお話は、全国各地の先進的な議会だよりを例にとった解説や、熊取町の議会だよりも含む「議会広報クリニック」など、極めて実践的で、これからの熊取町の議会だよりの改善にとって、有意義な研修となった。

冒頭、吉村氏は寝屋川市議会や出雲市議会のアンケート調査結果を示して、いかに住民が議会に関心が薄い（傍聴経験者はわずか2.7%）、また議会広報紙を読んでいる人がいかに少ない（30～40代では6割は殆ど読んでいない）を強調。住民の政治参加の意識を高めるためにも、「読んでもらえる広報紙」「読みたくなる広報紙」を目指した、意識的な改革が必要だと強調された。

吉村氏の講義から学んだポイントは、①広報紙改革のビジョンを持つこと。

（ターゲットを明確にするなど）②住民参加をこころがけること。③審議の経過がわかる議会だより（議論が予算にどう反映されたか等）だが、活字の量を減らすとか、写真をふやすなどして「読みやすくする」改革は、すぐに取り組むことができるが、「住民参加」や「審議の反映」などはじっくり腰を据えてやるべき課題かと思われる。（埼玉県寄居町の住民参加の事例など）

また、議会だよりの改革は、議会そのものの改革、議員のスキルアップも迫られる大変重要な問題であり、時間をかけた議論も必要かと感じている。

議員・職員のための

住民が読みたくなる議会 広報紙の作り方 in 東京・京都

講師 吉村 潔

【エディター・広報アナリスト】

上場企業の広報を中心に大学広報、会員誌などの制作に長年携わる。日本広報協会・広報アドバイザー。全国広報コンクール審査委員（広報紙部門・写真部門）。町村議会広報表彰審査委員。市町村アカデミー（行政広報・議会広報）講師。著書に「実践・広報紙づくり」「広報ハンドブック～メディアづくりのノウハウ～」等がある。「月刊広報」（日本広報協会）に「議会広報の改革はどこまで進んできたか」（2014年）、「動く議会・変わる広報」（2018年）を連載。「地方議会人」（中央文化社）で「市町村議会広報クリニック」を隔月担当。

7/14(火) 10:00~13:00 東京

8/4(火) 10:00~13:00 京都

議会の存在感を高める広報力
～読者に支持される広報紙づくりのポイント～

1. 議会広報の現況と課題

- (1)なぜ、読まれないのか
- (2)広報広聴は「コト」づくり
- (3)広報広聴戦略の策定
- (4)手にとりたくなる表紙
- (5)議案審議の広報
- (6)予算・決算の広報
- (7)委員会活動の広報 他

2. リニューアルのポイント

- (1)表紙デザインの着眼点
- (2)読む気になる特集を組む
- (3)定例会報告の発想を変える
- (4)住民参加の広報を強化
- (5)電子媒体を活用

3. 参考にしたい事例紹介

- (1)注目を集める議会広報紙
- (2)閲覧したくなるWEBサイト

7/14(火) 14:00~17:00 東京

8/4(火) 14:00~17:00 京都

スキルアップ×広報クリニック
～議会だよりの制作ノウハウと診断～

1. 企画・編集からデザインまで

- (1)企画の切り口、情報の編集
- (2)取材と文章のまとめ
- (3)レイアウトのポイント
- (4)効果的な色づかい
- (5)写真撮影の基本

2. クリニック

- (1)評価ポイント
- (2)改善点の提案
- (3)今後の方向性 他

*クリニック希望の場合、セミナー開催の10日前迄を目安に議会広報紙を2部、「地方議会総合研究所」宛にお送り下さい。